

**APEXブレッドボード
CSP - 022シリーズ
Rev 1
ユーザーズマニュアル**

有限会社ヒューマンデータ
初版

目次

はじめに.....	2
ご注意.....	2
製品の内容について.....	3
ボード概観.....	4
電源入力.....	5
クロック用ジャンパの説明.....	6
VCC10 を外部より供給する方法.....	7
コンフィグレーション方法.....	8
P Sモードによるコンフィグレーション方法.....	8
QUALTUS から CSP-021 上の EPC2 に ISP する方法.....	10
コンパイル時の設定.....	10
EPC2 への書き込み方法.....	11
JTAG 経由のコンフィグレーション方法.....	12
付属資料.....	12

はじめに

この度は、APEX ブレッドボードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

C S P - 0 2 2 はアルテラ社の高性能CPLDであるAPEXシリーズを実装した試作評価用ボードで、リセット回路、クロック源、電源回路などの必要最低限の機能に絞り、全ピンを拡張コネクタに引き出した使いやすいボードになっています。

どうぞご活用ください。

ご注意

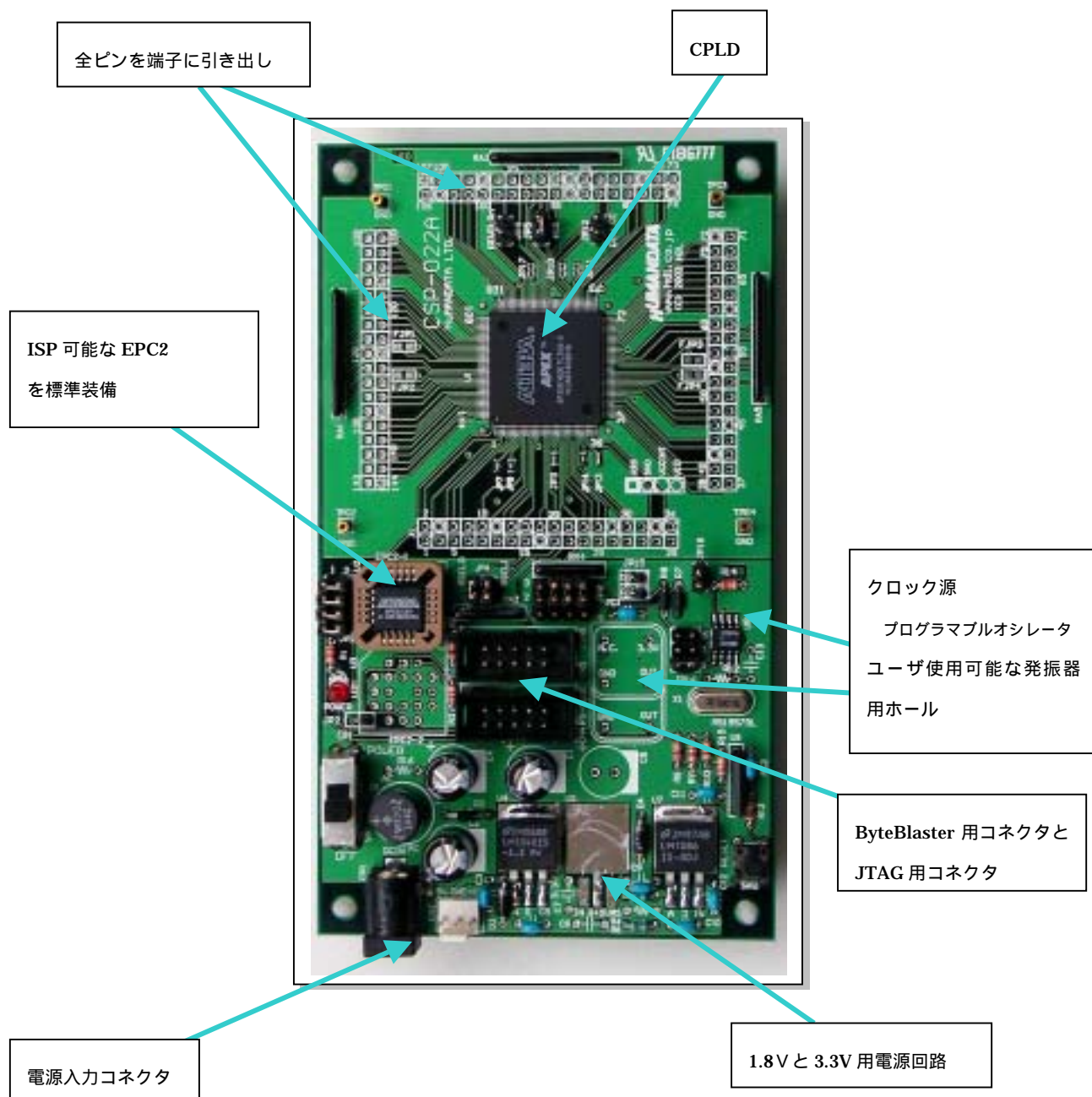
1. 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
 2. 本書の内容については万全の記して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
 3. 本製品の運用の結果につきましては、2. 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
 4. 本書に記載されている使用と異なる使用をされ、あるいは本書に記載されていない使用をされた場合の結果については、当社は責任を負いません。
- Quartus、MAX+Plus、APEX は、米国アルテラ社の商標です。

製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら、弊社宛にご連絡ください。

APEX ブレッドボード	1
A C アダプタ (6 V)	1
ジャンパ、ヘッダピンセット	1
マニュアル (本書)	1
ユーザー登録カード	1

ボード概観



注) 写真は、CSP-022-160E です。モデルにより多少の差がございます。

電源入力

付属の AC アダプタを用いる場合は、CN1 に接続します。
CN2 より、DC5V を供給することも可能です。

AC アダプタに極性はありません。

CN2

ピン番号	信号名
1	+5V
2	GND
3	N.C

クロック用ジャンパの説明

JP8 クロック選択

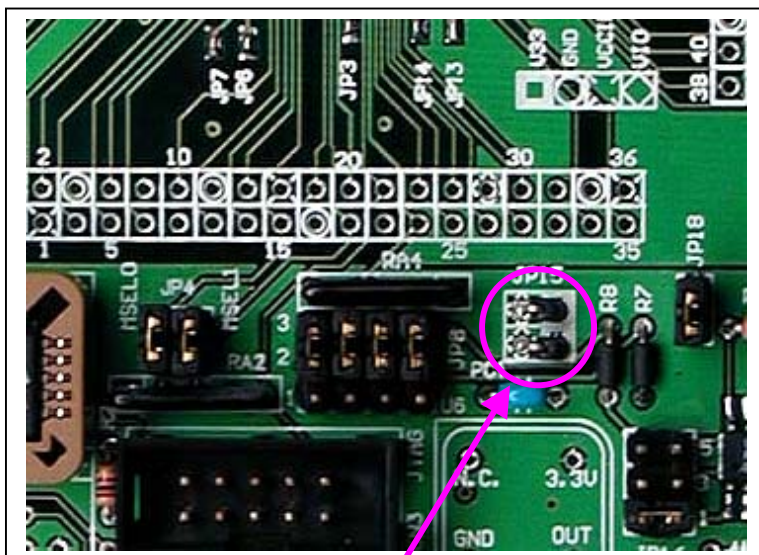
ショート位置 ピン番号	クロック	ショート位置 ピン番号	クロック
2-3	CPLD の 95pin	1-2	オプションの汎 用発振器(XCO)よ り
5-6	CPLD の 23pin	4-5	
8-9	CPLD の 92pin	7-8	
11-12	CPLD の 20pin	10-11	

JP18、JP16 クロック周波数設定

CY2071AF(クロック発生器：原発クリスタル 16.00MHz)

JP18=オープン				
JP16:いずれかシ ョート (同時ショート禁 止)	1-2 間	3-4 間	5-6 間	周波数
SHORT	-	-	-	20 MHz
-	SHORT	-	-	40 MHz
-	-	-	SHORT	80 MHz
JP18=ショート				
JP16:いずれかシ ョート (同時ショート禁 止)	SHORT	-	-	16.5 MHz 出荷時
-	SHORT	-	-	33MHz
-	-	-	SHORT	66 MHz

VCCIO を外部より供給する方法



JP15 を2本ともカットすると、外部より VCCIO が供給できます。

コンフィグレーション方法

CSP-022 では、3つのコンフィグレーション方法があります。

1. ByteBlasterMV などによるアルテラ独自方式 : P S モード
(パッシブシリアル)
2. JTAG による方法 (ByteBlasterMV などを用いる) : JTAG
3. コンフィグレーション ROM (内蔵 EPC2) による : ROM

P Sモードによるコンフィグレーション方法

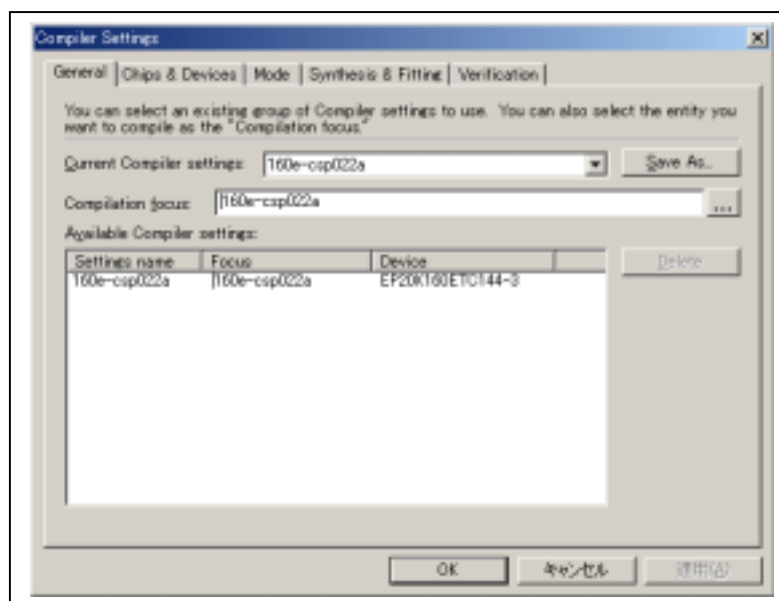
PS モードでコンフィグレーションするには、ボード上の JP1 を4個すべて取り外し、オンボードの EPC2 を切り離してください。

(EPC2 が実装されていないければ、JP30 はショートでかまいません)

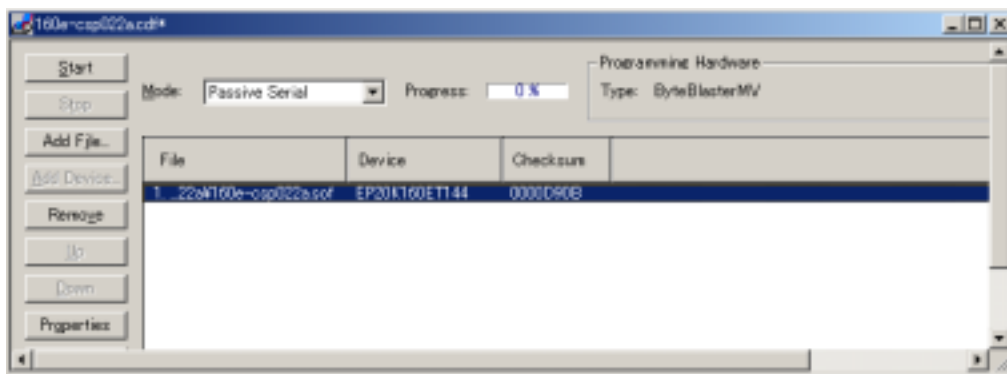
また、ダウンロードケーブルは、CN1 (CONFIG) へ接続します。

以下に、コンパイルから、コンフィグレーションまでの手順を示します。

- 1) ターゲットに合ったデバイスを固定してコンパイルしてください。



- 2) Programmer の Mode で PassiveSerial を選択してください。
AddFile により、pof ファイルを設定します。



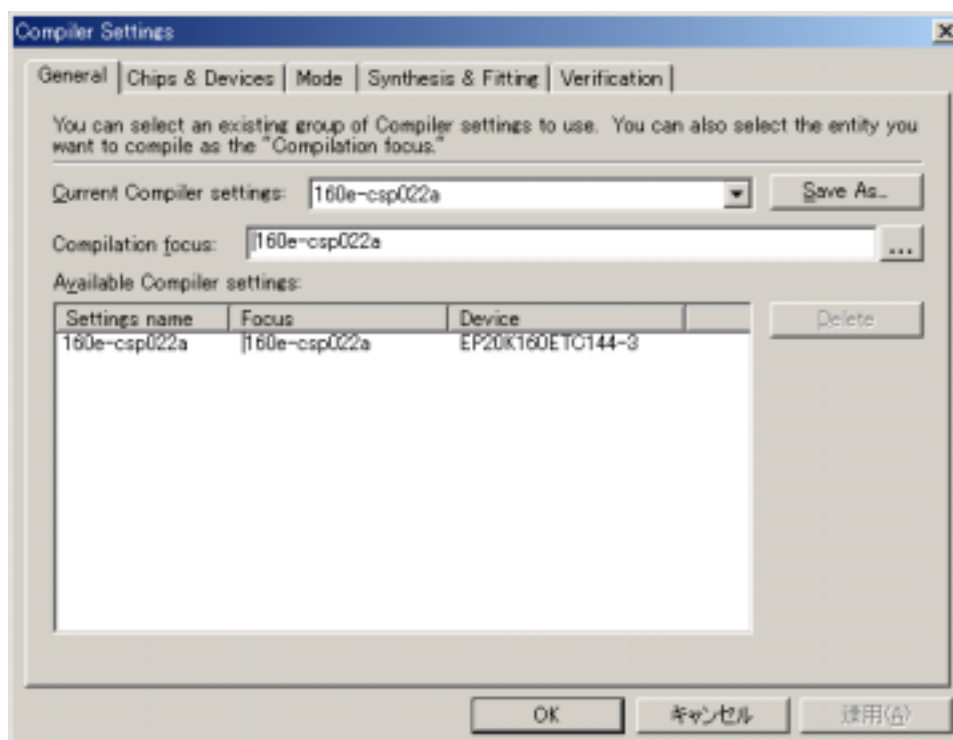
- 3) ByteBlasterMV (弊社の BLKIT または BL2 も同様) をターゲットの PS-MODE (パッシブシリアル) 用コネクタ (CN4) に接続し、Start のボタンをクリックすれば、コンフィグレーションが完了します。

つぎに、EPC2 への書込み方法と、JTAG でのコンフィグレーション方法を説明いたします。

Qualtus から CSP-021 上の EPC2 に ISP する方法

コンパイル時の設定

Compiler Settings の Chip & Devices のタブで図のように設定してください。



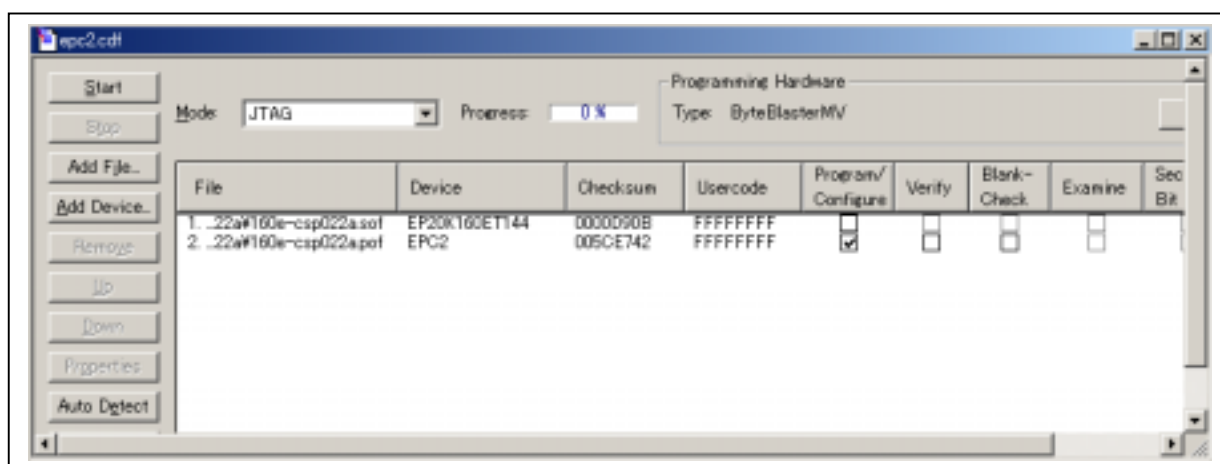
Use Configuration EPROM を "EPC2" に設定してください。

EPC2 への書き込み方法

EPC2 への書き込みは JTAG により行います。JTAG ではダウンロードケーブルを JTAG(CN3)のコネクタに接続します。

JTAG チェーンには、EPC2 と APEX がつながっています。それらの状態を、Qualtus の JTAG Cain Setup により設定します。図を参考に設定してください。

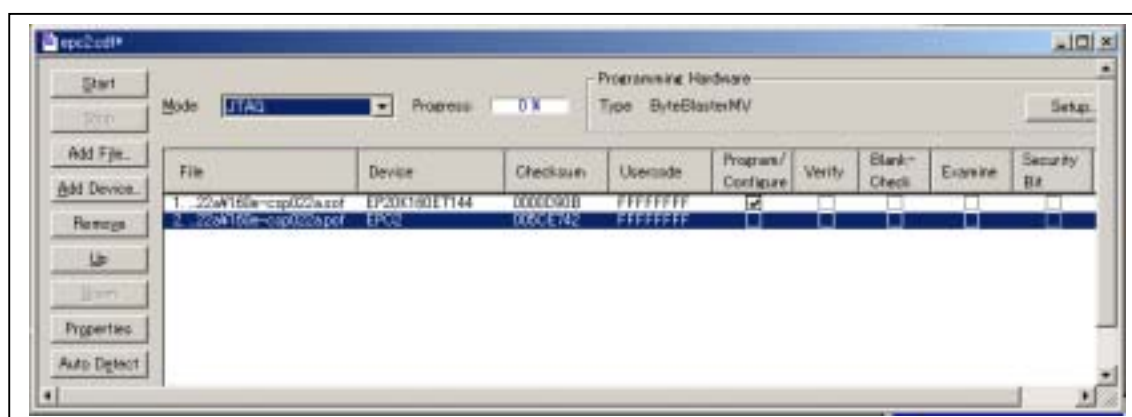
ファイルの並びは、1:EPF20K 2:EPC2 の順です。



このとき、APEX には書き込みをしないので、チェックをはずしておきます。

JTAG 経由のコンフィグレーション方法

JTAG 経由でコンフィグレーションするには下図のように、EPC2 へのプログラムのチェックを外し、APEX へのチェックを加えます。



付属資料

1. 回路図

APEX ブレッドボード
CSP-022 シリーズ Rev 1

ユーザーズマニュアル

2002/6/18 Rev1 初版

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034

大阪府茨木市中穂積1-2-51

シャトー春日第3ビル2F

TEL 0726-20-2002

FAX 0726-20-2003

U R L <http://www.hdl.co.jp>

M a i l support@hdl.co.jp
